

ハッピーライド in 静岡プロジェクト（静岡県小学生バス無料デー）

（静岡県交通基盤部交通政策課）

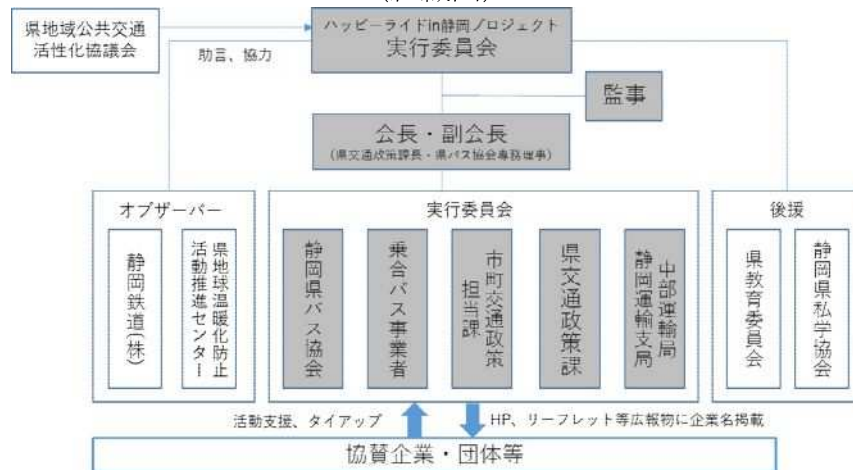
1 概要

小学生のバス利用を促進し、将来のバス利用者の増加につなげるため、県内全ての小学生がバスに無料で乗車できる「静岡県小学生バス無料デー」（以下「バス無料デー」。）を、市町や乗合バス事業者等と連携して実施する。（令和6年、令和7年に続く3回目の実施）。

2 令和8年度実施計画

項目	内容
対 象 者	県内の全小学生※及び未就学児 ※国公立・私立小学校、特別支援学校等含む
実施予定日	令和8年12月12日（土）～13日（日）、19日（土）～20（日）4日間
対象のバス	県内を運行する路線バス、県内のコミュニティバス ※土日運休等一部路線、区間を除く
主 催	ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会（2024年4月24日設置） 構成員：国、県、市町、（一社）静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：（一社）静岡県バス協会、県交通政策課

（組織図）



背景

- ✓ 少子高齢化や人口減少、モータリゼーションの普及による乗合バス利用者の減少
- ✓ バス運転士の高齢化による運転手不足 ⇒乗合バスがなくなる危機感へ

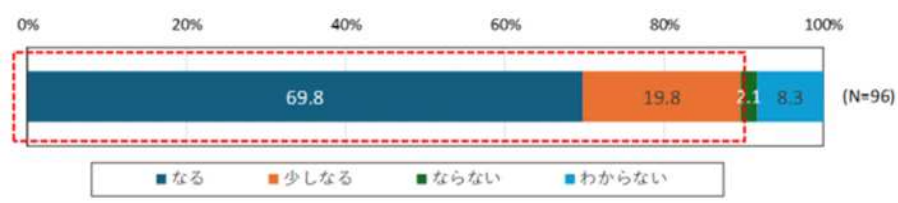
目的

- 小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- 地域の移動手段である路線バスを将来に渡って維持するために社会全体で「乗って育む」意識を啓発
- 皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減

目指す姿

- ◎マイカーから地域公共交通への転換
- ◎バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ◎子どもをバスにさせたいと思う保護者の増加
- ◎上記内容を通じたバス利用頻度の増加 ⇒生活に必要なバス路線の確保

2 実施結果

項目	内容
対 象 者	県内の全小学生 512 校 約 168,000 名（国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童）
実 施 日	令和 7 年 12 月 13 日（土）～14 日（日）の 2 日間
利用方法	リーフレットをバス運転士に提示
対象のバス	県内を運行する路線バス、県内のコミュニティバス ※土日運休等一部路線、区間を除く
成 果	○利用者数 - 子どもの利用者は前週から増加（約 2.5 倍）  ○利用促進効果 - バスの乗った小学生のうち、普段バスに乗らない（ほとんど乗らない）と回答した小学生の割合は 64% ○意識、行動の変化 - 昨年度のバス無料デーを知っていた小学生のうち、バスに乗ることが「増えた」と回答した小学生は「減った」と回答した数の 2 倍（12%） - 昨年度のバス無料デーと比べ、バスがすきになったと回答した小学生は 23%（低学年は約 40%） - バスに乗った小学生のうち、バス運転手の仕事を「もっと知りたい」という気持ちが強まった小学生は 44%（低学年は 59%） - バス無料デーにバスに乗った小学生の 76%がとても楽しかったと回答（低学年では 80%） - バス無料デーにバスに乗った保護者等の 39%が「無料デーがなければ出かけていなかった」と回答 - バス乗った保護者等の全員がバス無料デーが「自分や家族が公共交通に乗りかけのひとつになった」と回答 - バスに乗らなかった保護者等の 94.2%が、今後バス無料デーがあったら子どもをバスにさせたいと回答 - 保護者等の 90%が、「住んでいるまちにバスがあること」は今後もこの地域に住み続けたいと思う理由のひとつになると回答  図 1-26 住んでいるまちにバスがあることが、住み続けたい理由になるか （資料：定点調査、小学生、保護者等 Web アンケート結果）